

外国語授業改善研修会

1. 英米学科 英語担当者の集い

英米学科 エレノア・ロビンソン山口

- ・専攻英語科目担当者の集い

日時：2016年2月10日（水）10:00~12:00

場所：E304 会議室

内容：「Grammar & Basic Writing」, 「Academic Writing」, 「Research & Discussion」, 「Communicative English」, 「研究購読」などの専攻言語科目の英語指導を担当する専任教員及び非常勤講師が参集し、授業でアセスメント、テキスト・リソース、コンテンツ等についての問題点や改善すべき点、様々な面から意見交換を行った。

- ・全学英語担当者の集い

日時：2016年2月10日（水）13:30~15:30

場所：E304 会議室

内容：英語 I、英語 II 等の外国語科目の英語を担当する専任教員及び非常勤講師が集まり、アセスメントやリーディング、テキストやリスニングとスピーキング、そしてコンテンツとライティングについて三つのグループに分かれて話し合い、意見交換を行った。

2. 国際関係学科 英語担当者意見交換会

国際関係学科 鶴殿 悦子

日時：(1) 2015年12月17日(木) 15:10~17:30

(2) 2016年1月20日(水) 15:30~17:00

場所：国際関係学科共同研究室 (E302)

出席者：

- (1) 非常勤講師 ヤクセリ、トマス、大門(正)、大門(樹)、宮崎、宮浦
国際関係学科 ポープ、秋田、福岡、鶴殿
- (2) 非常勤講師 チェインバーズ、イスマイル
国際関係学科 ポープ、秋田、鶴殿

話し合いの内容：

- ・2016年度から新たに開講する授業について説明した。
- ・2014年度から始まった新カリキュラムがうまく機能しているかどうかを確認した。
- ・今年度の専門英語科目の授業について各教員が報告し、質疑応答を行った。
- ・e-Learning を授業に取り入れる際の良い点、問題になる点などについて意見交換した。

・来年度の授業について、科目ごとに分かれて、話し合った。授業内容、テキストの選択、テキストや副教材の使い方、授業時間配分、学生への対応など様々な課題について意見交換した。

3. スペイン語科目担当者会議

ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 江澤 照美

今年度も高等言語教育研究所の事業としてスペイン語科目の担当者会議を開催した。担当者として招集をかけたのは①本学のスペイン語圏専攻専門科目のうち1年生および2年生の専攻言語科目（ネイティブ教員の担当科目については3年生科目も含む）の担当教員、もしくは②全学共通科目スペイン語の担当教員である。①②共に本学の専任教員および非常勤講師で構成されている。例年と同じく、12月に非常勤講師の方々への開催予告をおこない、後期の授業が終了した翌年2月16日(火)の午前中(10:00-12:00)に①専門科目スペイン語の会合を、午後(13:00-15:00)に②全学共通科目スペイン語の会合を持った。

今年度の授業についての報告や反省をまずおこない、問題点や改善を要する点を洗い出した。また、学生の受講状況や評価の適正さ、使用テキストの内容など様々な問題について意見交換をおこなった。

日頃の連絡にはメールを利用し、同じ曜日の担当者とは直接話し合いもしているが、関係する教員が一同に会する機会を日頃簡単には持てないので、年に一度とは言え、この意見交換会は本学のスペイン語教育の質の向上に必要な催しとなっている。非常勤の先生方は全員来年度も授業をご担当いただくので、より一層のご理解とご協力を要請した。

4. ポルトガル語科目意見交換会

ヨーロッパ学科スペイン語圏専攻 渡会 環

日時:2016年2月1日(月)13:00~16:30

場所:E713

参加者: 非常勤講師 宮坂ヘジーナ、久保原信司
スペイン語圏専攻 渡会環
国際関係学科 高阪香津美

内容:それぞれの授業内容を報告したのち、すべてのクラスに共通する目標を設定し、その目標を達成するための教育的工夫について意見交換を行った。また、今後は授業間の横のつながりを一層図っていくこととし、来年度はまず、ポルトガル語Ⅱの会話と文法のクラスで指定されたテーマについての調査(文法クラス)と発表(会話クラス)をする活動を取り入れることを決めた。

5. 中国学科 中国語担当教員交流会

中国学科 月田 尚美

日時:2016年2月9日(火)11:00~13:00

場所:H309

出席者:

非常勤講師 9名

国際関係学科 6名

その他:2名

話し合いの内容:

・現在の中国学科、特に新カリキュラム以降の中国学科についての説明、情報共有

・授業改善のための議論

1) 教材選びについて

2) 学生のモチベーションの維持について

3) 学生の出席と評価について

4) その他

前もってアンケートをとり、その結果を配布して資料とした。非常勤の先生がたと活発な議論ができた。通常なかなか顔を合わせることがない先生もいるので、今回顔を合わせることができてよかった。

6. 日本語科目担当者授業改善研修会

国際関係学科 東 弘子

日時:2016年2月10日(水)10:30~12:30

場所:入試・学生支援センター長室

参加者:非常勤講師 鎌田美保、苅谷太佳子、黒野敦子、田辺淳子、馬場典子

国際交流室 広瀬恵子(室長)、松崎久美、水間彩乃

学務課 杉浦秀一

[話し合いの内容]

・授業に関する情報交換

・授業に関する課題の整理

協定大学からの留学生の人数も増え、レベルも多様であることから、「レベルによる履修制限」の方針や次年度より参加が予定される「VIA LACTEA」プログラムの留学生の履修について、国際交流室から説明が行われた。また、来期のプレイスメントテストと履修の流れについての情報共有がなされた。